

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月4日

上場会社名 森永製菓株式会社

上場取引所 東

コード番号 2201 URL <http://www.morinaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢田 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長

(氏名) 杉浦 俊明

TEL 03-3456-0112

四半期報告書提出予定日 平成21年11月10日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	82,618	2.0	2,868	47.4	3,112	45.5	1,855	79.0
21年3月期第2四半期	84,291		1,945		2,139		1,036	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	7.06	
21年3月期第2四半期	3.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	133,453	52,532	39.0	197.96
21年3月期	128,604	49,726	38.3	187.32

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 52,042百万円 21年3月期 49,254百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		0.00		6.00	6.00
22年3月期		0.00			
22年3月期 (予想)				6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,700	0.9	5,450	61.2	5,600	58.2	3,100	258.3	11.79

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 社 (社名) 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無
以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	270,948,848株	21年3月期	270,948,848株
期末自己株式数	22年3月期第2四半期	8,057,598株	21年3月期	8,011,465株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	262,909,588株	21年3月期第2四半期	263,351,469株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

売上高は、主力の食料品製造事業が減収となり、全体では826億1千8百万円と前年同期実績に比べ16億7千3百万円(2.0%)の減収となりました。

また損益面では、売上高は減少しましたが、昨年高騰した原材料価格に比べて原材料費の低減が図れたことや、マーケティングコストを第3四半期以降にシフトしたこと、全社的なローコストオペレーションにより、営業利益は前年同期実績に比べ9億2千3百万円(47.4%)増加の28億6千8百万円、経常利益も前年同期実績に比べ9億7千3百万円(45.5%)増加の31億1千2百万円となりました。また、四半期純利益につきましても、18億5千5百万円と前年同期実績に比べ8億1千9百万円(79.0%)の増益となりました。

事業の種類別セグメントの第2四半期連結累計期間業績は、次のとおりであります。

<食料品製造事業>

菓子部門

菓子部門は、主力ブランドの「ミルクキャラメル」が販促活動の効果もあり大幅に伸張し、「ダース」及び『午後の紅茶』ブランドを活用した商品群が好調に推移した「森永ビスケット」は堅調に推移しました。一方で「チョコボール」「小枝」「ハイチュウ」「おっとっと」は苦戦を強いられました。

その結果、菓子部門全体の売上高は、当期より取引制度を変更した影響もあり、前年同期実績を下回りました。

食品部門

食品部門では、当期発売90周年を迎える主力ブランドの「ミルクココア」が積極的なマーケティング活動により好調に推移しました。その結果、食品部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。

冷菓部門

冷菓部門では、「アイスボックス」が夏場の天候の影響もあって苦戦しましたが、主力の「チョコモナカジャンボ」は鮮度管理を徹底することで商品価値をより一層高め、さらには広告宣伝を集中的に行ったことで、前年同期実績に比べ伸張しました。その結果、冷菓部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。

健康部門

健康部門は当期より、従来からのウイダーブランドを中心とした事業に加え、「天使の健康」シリーズの通販事業を合わせて「健康部門」とします。

健康部門は、「天使の健康」シリーズの「清祥茶房」「おいしいコラーゲンドリンク」が順調に推移しましたが、主力ブランドの「ウイダーinゼリー」が苦戦を強いられたことにより、健康部門全体の売上高は前年同期実績を下回りました。

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は694億9千3百万円と前年同期実績に比べ2.5%減となりました。営業利益は22億8百万円と前年同期実績に比べ4億8千万円の増益となりました。

＜食料卸売及び飲食店事業＞

売上高は食料卸売部門が堅調に推移し、事業全体では113億6千5百万円と前年同期実績に比べ0.5%の微増となりました。また、営業利益は2億8千2百万円と前年同期実績に比べ5百万円の微増となりました。

＜不動産及びサービス事業＞

売上高はゴルフ部門が前年並みでしたが、不動産部門が増収となり、事業全体では14億8千7百万円と前年同期実績に比べ4.9%増となりました。営業利益は4億5千6百万円と前年同期実績に比べ1千9百万円の増益となりました。

＜その他の事業＞

売上高2億7千2百万円、営業利益5千4百万円であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は1,334億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億4千9百万円増加しております。主な要因は、流動資産の現金及び預金の増加や固定資産の投資有価証券の増加であります。負債の残高は809億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億4千3百万円増加しております。主な要因は、流動負債の短期借入金の減少及び未払法人税等の増加と固定負債の繰延税金負債の増加であります。

以上の結果、自己資本比率は0.7ポイント上昇し39.0%となりました。

連結キャッシュ・フローにつきましては、次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて19億5百万円増加し、83億7千2百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は74億1千8百万円と前年同四半期累計期間に比べ31億5千4百万円増加となりました。この増加の主たる要因は、税金等調整前四半期純利益の増加とたな卸資産の減少などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は9億7千9百万円となりました。主な内容は有形固定資産の取得による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は45億7千9百万円となりました。これは主に借入金の返済と配当金の支払いによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

主力の食料品製造事業を取り巻く市場環境は、先行き不透明感が増す中で低価格化が進行しており、引き続き厳しい状況になると予想しております。そうした中、積極的にマーケティング展開を図るとともに、生産効率の向上と全社的なローコストオペレーションを進めてまいります。

通期の見通しにつきましては、売上高 1,657 億円（前年同期比 0.9%減）、営業利益 54 億 5 千万円（前年同期比 61.2%増）、経常利益 56 億円（前年同期比 58.2%増）、当期純利益 31 億円（前年同期比 258.3%増）を予想しております。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,383	7,370
受取手形及び売掛金	17,823	17,446
有価証券	-	110
商品及び製品	7,827	8,180
仕掛品	586	578
原材料及び貯蔵品	5,333	5,389
繰延税金資産	2,373	1,967
その他	4,495	5,130
貸倒引当金	21	18
流動資産合計	47,801	46,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,076	19,852
機械装置及び運搬具(純額)	13,383	14,251
土地	30,277	30,249
その他(純額)	1,658	1,671
有形固定資産合計	65,395	66,023
無形固定資産		
のれん	1,855	1,910
その他	436	425
無形固定資産合計	2,292	2,336
投資その他の資産		
投資有価証券	15,640	11,607
繰延税金資産	388	375
その他	2,016	2,216
貸倒引当金	81	111
投資その他の資産合計	17,963	14,088
固定資産合計	85,652	82,448
資産合計	133,453	128,604

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,220	15,869
短期借入金	1,729	4,527
未払金	8,318	8,101
未払法人税等	1,713	275
賞与引当金	2,393	2,004
その他	8,009	7,146
流動負債合計	38,384	37,925
固定負債		
長期借入金	23,122	23,179
繰延税金負債	4,128	2,635
退職給付引当金	6,909	6,959
役員退職慰労引当金	166	174
受入敷金保証金	7,484	7,409
その他	725	594
固定負債合計	42,536	40,952
負債合計	80,921	78,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,186	17,187
利益剰余金	13,977	13,699
自己株式	2,028	2,020
株主資本合計	47,748	47,479
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,793	2,312
繰延ヘッジ損益	3	13
為替換算調整勘定	495	552
評価・換算差額等合計	4,293	1,774
少数株主持分	490	471
純資産合計	52,532	49,726
負債純資産合計	133,453	128,604

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	84,291	82,618
売上原価	44,850	43,883
売上総利益	39,441	38,735
販売費及び一般管理費	37,495	35,866
営業利益	1,945	2,868
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	293	249
持分法による投資利益	2	2
その他	198	249
営業外収益合計	498	503
営業外費用		
支払利息	194	172
その他	110	87
営業外費用合計	304	260
経常利益	2,139	3,112
特別利益		
固定資産売却益	8	0
その他	2	11
特別利益合計	11	11
特別損失		
固定資産除売却損	291	122
その他	52	12
特別損失合計	344	134
税金等調整前四半期純利益	1,805	2,988
法人税、住民税及び事業税	987	1,653
法人税等調整額	228	522
法人税等合計	759	1,130
少数株主利益	10	1
四半期純利益	1,036	1,855

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,805	2,988
減価償却費	2,738	2,552
のれん償却額	70	81
退職給付引当金の増減額(は減少)	65	50
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	26	8
賞与引当金の増減額(は減少)	425	388
貸倒引当金の増減額(は減少)	5	27
受取利息及び受取配当金	297	252
支払利息	194	172
持分法による投資損益(は益)	2	2
固定資産売却損益(は益)	102	21
固定資産除却損	181	100
売上債権の増減額(は増加)	221	349
たな卸資産の増減額(は増加)	1,266	419
仕入債務の増減額(は減少)	512	337
その他の流動資産の増減額(は増加)	428	627
その他の固定資産の増減額(は増加)	106	23
未払金の増減額(は減少)	246	206
その他の流動負債の増減額(は減少)	47	281
預り敷金及び保証金の増減額(は減少)	111	74
その他	0	15
小計	5,141	7,570
利息及び配当金の受取額	297	252
利息の支払額	124	189
法人税等の支払額	1,049	215
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,264	7,418
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	12	10
定期預金の払戻による収入	12	12
有形固定資産の取得による支出	2,642	1,086
有形固定資産の売却による収入	25	182
無形固定資産の取得による支出	29	12
投資有価証券の取得による支出	2	2
投資有価証券の売却による収入	4	3
投資有価証券の償還による収入	1,000	-
関係会社株式の取得による支出	58	-
貸付けによる支出	2	-
貸付金の回収による収入	0	0
その他	120	67
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,826	979

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	1,556	2,790
長期借入れによる収入	3,000	-
長期借入金の返済による支出	1,106	91
自己株式の取得による支出	388	9
自己株式の売却による収入	6	0
配当金の支払額	1,588	1,577
少数株主への配当金の支払額	18	24
その他	5	85
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,658	4,579
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	16
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	776	1,876
現金及び現金同等物の期首残高	6,435	6,467
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（は減少）	13	28
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,225	8,372

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

(単位 百万円)

	食料品 製造	食料卸売 及び 飲食店	不動産 及び サービス	その他	計	消去 又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	71,284	11,307	1,418	281	84,291	-	84,291
(2)セグメント間の内部売上高	2,636	720	63	36	3,457	(3,457)	-
計	73,920	12,028	1,482	317	87,749	(3,457)	84,291
営業利益	1,728	277	437	32	2,475	(529)	1,945

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

(単位 百万円)

	食料品 製造	食料卸売 及び 飲食店	不動産 及び サービス	その他	計	消去 又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	69,493	11,365	1,487	272	82,618	-	82,618
(2)セグメント間の内部売上高	1,863	639	63	39	2,606	(2,606)	-
計	71,356	12,004	1,551	312	85,225	(2,606)	82,618
営業利益	2,208	282	456	54	3,002	(133)	2,868

注 1 事業区分の方法

当社の管理上の各部門及び各連結子会社のそれぞれをその主な事業により分類し、「日本標準産業分類」の大分類を参考にして区分しております。

2 各区分に属する主要な製品等の名称

食料品製造 菓子、食品、冷菓、健康(ゼリー飲料等)等の製造

食料卸売及び飲食店 業務用食品の卸売、食堂、レストラン等

不動産及びサービス 不動産取引、不動産賃貸、ゴルフ場等

前第2四半期連結累計期間

3 会計方針の変更

(「重要な資産の評価基準及び評価方法」における会計方針の変更)

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結累計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価の切下げの方法)に変更しております。

この変更により、営業利益が「食料品製造」99百万円、「食料卸売及び飲食店」3百万円、それぞれ減少しております。

4 追加情報

(有形固定資産の耐用年数の変更)

平成20年度の法人税法の改正による法定耐用年数変更を契機に資産の利用状況を見直した結果、第1四半期連結累計期間より、主として機械装置について耐用年数の変更を行っております。

この変更により、営業利益が「食料品製造」83百万円増加、「食料卸売及び飲食店」0百万円減少、「不動産及びサービス」0百万円減少、「その他」0百万円増加しております。

【所在地別セグメント情報】

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。